

☆公害による健康被害を許すな!

☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!

モズ 画:橋本正弘



大阪から公害をなくす会 ニュース

大阪から公害をなくす会

大阪市此花区西九条1丁目4-9

高田ビル 〒554-0012

TEL 06-6463-8003

FAX 06-6463-8202

oskougai@coast.ocn.ne.jp

発行責任者 芹沢 芳郎

年間購読料一部2,000円(送料共)

郵便振替 00910-7-300387

「人が社会を動かす」「もうひとつの世界」の姿が見え始めた09ベレンWSF

梅田 章一(弁護士・WSFおおさか共同代表)

世界的転換期に開催された09世界社会フォーラム

世界社会フォーラム(WSF)は、毎年1月にスイスのダボスで開催される世界経済フォーラムに対抗して2001年から開催されてきました。世界経済担当大臣や経済界の代表が集い、新自由主義を推進する基調にたつのに対し、世界社会フォーラムは、主に南半球諸国のNGOが、戦争、貧困、環境などさまざまな問題を持ちより、「もうひとつの世界は可能だ」をス



日本からの参加者

ローガンに、大規模なフォーラムを開催してきたものです。2001年から始まり、ブラジルでの開催がもっとも多く、これまでの開催都市は、ポルトアレグレ(ブラジル)、ムンバイ(インド)、ナイロビ(ケニア)であり、今年は1月27日からブラジルのベレンで開催されました。

ベレンは人口約150万人のアマゾン川河口の港湾都市です。アマゾン河口はまさに熱帯で、気温や湿度も高く、強い日差しです。しかし、大学構内で開催されたさまざまなイベントやワークショップでは、多彩な催しが行われ、活気に溢れていました。2000以上のワークショップが登録されており、信じられない数です。

南半球から地球を変えるエネルギー

WSF2009ベレンへの参加者の表情は明るく力強い。暗さを感じさせるものはありません。圧倒的多数の参加者は、地元ブラジルをはじめ南米諸国か

らの参加者です。デモの途中で激しいスクロールを浴びましたが、スクロールが強くなればなるほど、それを弾き飛ばすかのように大きな歓声が上がります。南米各国での軍事政権の体制を民主化し、次々と左派政権を誕生させてきた民衆のエネルギーを象徴するような光景です。

しかも、ルラ(ブラジル)、チャベス(ベネズエラ)、モラレス(ボリビア)、コレア(エクアドル)、ルゴ(パラグアイ)の5人の大統領が参加していました。WSFは政府主催の集会ではありません。NGOや労働組合など市民セクターが主催するイベントです。このような運動と連帯して、各国の大統領が参加しているのです。まさに、

国境を越えて市民セクターと政府とが共同して、まるごと南米大陸を変革しようとしている姿をここに見ることができました。力強く社会を変革しつつある南米の姿、民衆の社会変革への自信を示していたといえます。

WSFは大規模であることもあってか、主催者の顔が見えま

せん。10万人デモの先頭を務めていたのは、ボランテティアスタッフの若い子らであり、飛び入り飛び出し、かつて自由のさまざまな団体のパフォーマンスパレードが延々と続きます。まさに主人公は参加者ひとりひとりです。わたしたち参加者は、一人ひとりがそのような熱気に触れ、熱い感激を日本に持ち帰ることができました。「金が社会を動かす」のではなく「人が社会を動かす」という、これはまさにルネッサンスです。

私はナイロビでのWSF07にも参加し、今回のベレンWSF09にも参加しましたが、アフリカや南アメリカの民衆のもの凄いエネルギーというかパワーを感じます。

戦争、飢餓、貧困、差別、環境など抱えている問題は山積みであることは間違いないが、それに立ち向かっている市民運動の存在を、そして、そのパワーが政治を変えている現実があることを、もっと私たちは知るべきです。アフリカや南アメリカに関して、あまりにも日本のマスコミは情報量が少なく、また偏っています。北半球主導の時代は終わりはじめ、南半球のパワーが世界を動かす時代が到来し始めているのです。